

広域災害・救急医療情報システムに参画している病院の産婦人科の受入可否等について(8月29日)

資料 2

[病院からの聞き取り]

病院名	産婦人科の救急搬送受入可否の状況				産婦人科当直医の数	産婦人科医数 (常勤) 19.4.1 現在	産婦人科病床数
	昼間	夜間	システム上受入不可にした理由	29日2時～6時に要請があれば、実際には対応できたか			
県立医科大学付属病院	○	○			2人	13人	70床
市立奈良病院	○	×	輪番当番日でないため、当直医不在	週3日の当番日(水、木、土)でないため、対応はできない。	0人(宅直)	3人	病床数は決めていない
近大医学部奈良病院	—	—	婦人科のみ対応	午前0時から午前8時まで分娩が1名あり、その管理にあたっていたため対応できない。	1人	6人	31床
済生会中和病院	○	×	かかりつけの妊婦のみ対応	当直医が不在で対応できない。宅直2名はそれぞれ奈良市、香芝市在住であり、病院に来るのに40分はかかるため、救急対応はできない。	0人(宅直)	2人	20床
天理市立病院	○	×	産婦人科の常勤医が1名のため、夜間はかかりつけの患者のみ対応	当日の当直医は内科医であり、対応できない。	0人(宅直)	1人	17床
天理よろづ相談所病院	○	×	かかりつけの妊婦のみ対応	婦人科重症患者2名(手術直後、腹水)及び産科切迫早産2名おり、対応できない。	1人	5人	産科21床 婦人科35床
奈良社会保険病院	○	×	かかりつけの妊婦のみ対応	当直医1名は待機していた。明け方に一件分娩あり。ただし、かかりつけ患者等に対応するための待機であり、当日いきなり救急要請のあった患者はおそらく診られなかった。	1人	2人	30床
大和高田市立病院	○	×	かかりつけの妊婦のみ対応	医師については、宅直体制をとり、分娩に対応している。また当院受診者については、救急にも対応できるが、初診の産科患者は、安全な医療が提供できないので、受入れは不可能であった。	0人(宅直)	3人	40床
県立奈良病院	○	×	1次救急は受け入れていない	2時45分から分娩処置に対応していたが、注意を要する分娩であったため、4時まで引き続き目を離せない状況にあった。	1人	6人	産科30床 婦人科16床
県立三室病院	○	×	かかりつけの妊婦のみ対応	満床であり、術後の患者管理及び分娩24時間以内の患者の管理を行っていた。	1人	2人	24床
高の原中央病院	○	×	婦人科のみ対応(昼間のみ)	当直医不在のため対応できない。	0人	2人	婦人科4床

※昼間・夜間の○×表示は、システムの画面表示 (システム表示 ○:救急受け入れ可 ×:救急の受け入れ不可 —:救急は受けない)